

天王寺 愛あいプラン

概要版

第2期天王寺区地域福祉アクションプラン

基本
理念

『住民みんなで作る新しい時代の
やさしくあたたかい品格あるまちづくり』

みんなで福祉のまちづくり!



推進委員会・第1部会・第2部会(高齢班、障がい班、子育て班)会議

基本
目標

- (1) おたがいを理解しあい、大切にしようまち
- (2) みんなで支えあい、必要な福祉サービスが十分受けられるまち
- (3) 子どもをはじめみんなが生涯地域に愛着と誇りを持ち、夢を持って暮らしていける福祉のまち

第2期（平成21年度～23年度）天王寺区地域福祉アクションプランの推進

第1期の3年間（18年度～20年度）、推進委員会・部会・班会議（高齢・障がい・子育て）、又、実行委員会を中心に具体的な目標（①交流～④気づき）に基づき、12項目について公私協働により取り組みました。

第2期（21年度～23年度）の推進については、プランの基本理念・目標は継続しつつ、また、取り組みの評価を踏まえ、3年間で見てきた新たな課題に基づく具体的な取り組みや継続する取り組みなど、公私協働により推進していきます。

第1期に取り組んだ内容

具体的な目標

①交流

豊かな交流で助けあひ支えあうあたたかい心が息づく、福祉コミュニティをつくろう

②情報

みんなで地域の福祉情報を細かく共有しよう

③人材

一人ひとりが主人公。みんなが主体的・積極的に地域活動に参加しよう

④気づき

まちのこと、お互いのことを気づき合おう

- ☆愛あいふれあいまつり（18年度～ 毎年10月に開催） 延べ参加者数 3,270人
住民の皆さんの参加をいただき、高齢者・障がい者関連事業者・施設の紹介、福祉情報の提供・相談コーナーの設置、世代間交流の体験コーナー、舞台発表などを行い、子どもからお年よりが参加、参加者と従事者との交流と共に新たな気づきの場となっています。
- ☆子育て愛あいフェスティバル（18年度～ 毎年8月に開催） 延べ参加者数 2,853人
就学前児童と保護者、マタニティママが参加。子どもの健康・教育等の専門相談コーナー、大型遊具等による遊びのコーナーの設置、関係団体・機関、地域の保育ボランティア、ジュニアクラブ会員、高校生大学生等のボランティアの皆さんも一緒に、世代間交流の楽しい場となっています。
- ☆子育て支援サークルの拡充、親育ち講座の開催（18年度～） 延べ参加者数 2,100人
就学前児童と保護者、マタニティママが集う各地区のサークルへ、保健師や栄養士などを派遣、身近に相談できるシステムを構築。「子育て親育ち講座」として幼稚園で講演やコンサート、中学校で人形劇公演を開催しました。（各地区子育て支援サークルの運営は、地区の主任児童委員・民生委員が担っています。）
- ☆パラリンピック正式種目「ボッチャ大会」（20年度開催） 参加者数 100人
4名1チームで25チームが参加、トーナメント戦により開催。年齢・性別・障がいの有無を超えた楽しい交流ができました。
- ☆あいさつ運動の推進（19年11月 天王寺区あいさつ運動推進委員会を設置）
地域の繋がりと支えあうまちづくりに向け、絵画と標語を募集、入選作品によるカレンダー・のぼり等を作成、区行事で啓発活動を推進しています。

- ☆愛あいマップの作成と配布（18年度） 2,000部配布
高齢者、障がい者の日常生活に関わる制度や福祉サービス・関係施設等の情報、また、坂道情報を地図上に落とし込み作成。
- ☆区内各種団体の活動紹介（19年度～） 9団体紹介
区民の方に区内各種団体の活動を知っていただくため、区役所・区社協のホームページや広報紙により、順次ご紹介をしました。

- ☆天王寺区ジュニアクラブ発足（19年12月発足） 対象：区内の小学5年生～高校生 現在登録数 124人
年5回程度の活動を実施。学年・学校を超えた交流、区行事のボランティア活動、区内の施設体験など、まちへの愛着とボランティア精神を育てている。
- ☆シニアボランティアグループ「おもちゃのチャチャチャ」誕生（20年度） 現在登録者数 13人
地域活動デビューきっかけ講座「手作りおもちゃ講習会」を開催、参加者有志でサークルを結成し区行事等で活躍中。（老人福祉センターで定例会開催）
- ☆保育ボランティアの育成と登録（18年度～） 現在登録者数 19人
育成講座を開催。区の講演会や乳幼児健診などで活動中。

- ☆障がい当事者の語りコーナーの開設（18年度～）
愛あいふれあいまつりで、障がいのあるご本人の貴重な経験談をお聴きする場を設け、障がいへの理解を深める機会となっています。
- ☆区内の障害者関係施設見学の実施（18年度）
区内の障害者施設の見学を公募により実施。1施設を訪問、施設の概要をお聞きし障がい者との交流を図りました。

第2期の取り組み内容

平成21年度重点取り組み

取り組みの具体的な内容

世代・障がい・性別を超えて
地域での交流の場づくり
子育て支援環境の拡充

- ★新規
- ・愛あいふれあいまつり
- ・子育て愛あいフェスティバル
- ・ボッチャ出前大会への協力
- ・子育て支援サークルの拡充
- ・子育て親育ちの取り組み
- ★小中学生を対象とした現状把握

ホームページの充実
各種団体の活動紹介
情報発信方法の再考

- ★ホームページに会議報告の掲載
- ★タイムリーな事業等紹介
- ★ポスター掲示やチラシ設置先の開拓 など

人づくり
仲間づくり
団塊世代の地域デビュー

- ・登録保育ボランティアの活動の充実
- ★団塊世代シニア対象の講座の開催
- ★地域の既存グループとの交流会の開催 など

共に助け合うまちづくり
要援護者のネットワークづくり

- ★安心のまちづくり講演会の開催
- ★地域での意見交換
- ★(仮称)安心カードのモデルづくり
- ★障がい班のアンケート調査 など

継続取り組みへの支援

- ・ジュニアクラブの運営協力
- ・あいさつ運動の推進
- ・保育ボランティアの育成と登録

第1期（18年度～20年度）アクションプラン推進の 成果と課題、今後に向けて

評価委員会では、取り組まれた項目について、各活動等におけるアンケート結果や各班員の意見を踏まえて検討、意見交換を行いました。

アクションプランの推進により、

- 区内各種団体間の連携、団体と区役所、区社協等の連携がよりスムーズになった。
- 交流事業により、地域住民の方々のふれあいやつながりを築くきっかけとなった。
- 地域活動の新たな担い手が組織化され、地域活動の活性化につながった。

などの成果がありました。

さらに、福祉のまちづくりに向け、これまでの取り組みとともに、共に助けあうしくみづくり、団塊世代と地域のつながりづくり、また、住民のみなさんへの福祉関連情報の提供方法などの課題解決など、第2期アクションプランの取り組みとして推進していきます。

天王寺区地域福祉アクションプラン 『愛称:天王寺愛あいプラン』の策定と推進経過

各区では、地域の実情に合った地域福祉を推進するしくみづくりのため、平成16～17年度、住民の皆さんと行政との協働により「地域福祉アクションプラン（＝地域福祉行動計画）」の策定の取り組みが始められました。

天王寺区では、地域の各種団体関係者や市民公募委員等の参画をいただき、平成16年10月、天王寺区地域福祉アクションプラン策定委員会等を設置し、地域福祉フォーラムを皮切りに、策定委員会・部会、各班会議（高齢、障がい、子育て）と地域での福祉座談会など、熱心なご議論を通じていただきました問題点、改善方策、アイデアなどのご意見をとりまとめ、天王寺区地域福祉アクションプラン（＝天王寺愛あいプラン）として、平成18年3月に策定されました。

プランの推進にあたっては、平成18年6月、推進委員会・評価委員会を設置し、第1期（18～20年度）、多様な活動を実施しました。引き続き、第2期（21～23年度）についても、重点取り組みを中心にプランを推進していきます。

『愛称：天王寺愛あいプラン』

みんなで支えあい助けあい、やさしくあたたかい地域、福祉のまちづくりを進めるこのプランの趣旨に沿い、親しみやすい愛称として、多数の応募の中から選考・決定されました。

- **推進委員会・評価委員会、第1部会、第2部会（高齢班・障がい班・子育て班）の構成団体**：社会福祉協議会、民生委員協議会、地域振興会、地区社会福祉協議会、地域ネットワーク委員会、地域女性団体協議会、人権啓発推進会、社会福祉施設連絡会、身体障害者団体協議会 医師会、歯科医師会、薬剤師会、PTA協議会、学校園、保育所、青少年指導員連絡協議会、子供会育成連合協議会、母と子の共励会、老人クラブ連合会、食生活改善推進員協議会、寝たきり予防推進協議会「夕陽の会」、四天王寺大学、地域福祉活動者、市民公募委員、ジュニアクラブ運営委員会、総合相談窓口連絡会、居宅介護支援事業者連絡会、訪問介護事業者連絡会、通所介護事業所連絡会、家族介護者のつどい「和みの会」、機能訓練修了者の会「ゆうゆうくらぶ」、精神障害者支援の会「HIT」、生活介護事業所「ハーモニー」、視聴覚二重障害者福祉センター「すまいる」、大阪府家内労働センター連合授産場、コミュニティ協会、手話サークル天王寺、喫茶パンジーの会、精神保健ボランティアグループ「ふわっと」